



日本共産党区議会議員清水菊美 こんにちは ニュース

2022年 2月4日

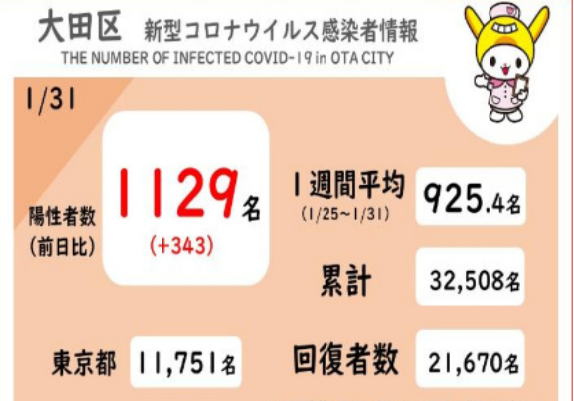
連絡先 清水菊美事務所 090-3342-3001

ホームページ <http://www010.upp.so-net.ne.jp/kikumihp/index.html>

大田区内でも コロナ感染急拡大

保育園の休園、小中学校の学級閉鎖、病院、特養ホームでも広がっています。区は3回目のワクチン接種前倒し、会場の増設を行っています。

**64歳以下のワクチン接種前倒し
(1月28日変更)**



大田区ホームページより

1 「その他一般(64歳以下の方)」の前倒し対応の追加(追加接種実施計画3頁)

対象者	2回目接種完了日からの接種間隔		前倒しに対応した接種開始日
	変更前	変更後	
医療従事者	6か月		令和3年12月～
高齢者施設等入所者 高齢者施設等従事者	6か月		令和4年1月11日～
上記以外の高齢者	6か月		1月21日～
その他一般 (64歳以下の方)	7か月	6か月	2月8日予約開始 2月10日接種開始 ※

※高齢者の接種券発送や予約の進捗が一定程度見込まれる2月10日から、「その他一般(64歳以下の方)」の方の接種間隔を前倒しする。

2 前倒し接種を実施するための集団接種会場の増設

会場名	キヤノン株式会社 下丸子体育館	日本工学院専門学校 (片柳アリーナ)
開設期間	2月22日(火)から 3月下旬まで(予定)	3月19日(土)から 3月23日(水)まで
使用ワクチン	武田/モデルナ社製ワクチン	
接種予定数	1日800名程度	1日最大4,000名程度(5日間)
予約開始日	2月8日(火)	

日本共産党区議団 コロナから区民を守る緊急要望 第21次

1月27日区長に提出しました。以下申し入れ内容です。

1 現在、第6波の感染急拡大の下で保健所での陽性者への健康観察業務が追いついていない状況です。他部署からの応援での体制強化を計って

いますが、1日1500〜2000名の新規陽性者が発生しても対応できる体制と場所の確保を早急に進めること。自宅療養者への観察支援を強化するとともに、現在放置状態になっている濃厚接触者の把握と健康観察相談に応じる体制をとること。

2 自宅等で待機している濃厚接触者を対象に、社会福祉協議会を中心に2月1日から緊急食糧支援を始めますが、希望するすべての濃厚接触者に対応できるように緊急に施策を拡充すること。

3 区が持っている検査能力を最大限投入し、高齢者施設、医療機関、障害者施設、保育園、幼稚園、小中学校などハイリスクな施設の定期的に検査を国、都とも連携して集中して行うこと。

4 5歳〜11歳を含めたワクチン接種を安全・迅速に行うこと。学校、保育園、幼稚園、

児童館、学童、障害者施設などの職員を優先して3回目のワクチン接種を行うこと。

5 学校、保育園、幼稚園、児童館、学童などに不織布マスク、消毒液、二酸化炭素(CO2)計測器などを、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため区が購入して配布すること。

6 保育園、小中学校、幼稚園について
(保育園)

園児や保護者、職員から陽性者が出て保健所だけでなく各園が保育サービスクとの相談で対応を決めています。従来通り保健所が責任もって対応するよう体制を強化することやむを得ず休園になった場合、仕事を休めない保護者への対応が求められます。都はベビーシッターの活用などとしています。区としてあらゆる手段をとって支援を行うこと。
(小中学校)

これ以上感染を拡大しないため、分散登校など対策をとること。

コロナ禍でストレスを抱える児童生徒のためにスクールカウンセラー拡充など相談体制を整えること。
(幼稚園)

各園で園児、職員に陽性者が発生した場合の対応が異なっているため、区として私立幼稚園のガイドラインを作成し示すこと。



清水菊美区議 なんでも相談

毎週木曜日午後3時~5時
大森東4-34-17事務所
090-3342-3001

顧問弁護士による
法律相談 第4木曜日です。
電話にて予約をしてください。
(曜日や時間は調整できます。
お気軽に電話をください)